

平成24年度 決算状況報告 一般会計

平成24年度一般会計の決算額は、収入270億4,986万円、支出262億6,287万円でした。そのうち平成25年度へ事業を繰り越して使う資金を差し引いた実質収支は、6億7,075万円の黒字決算となりました。財政調整基金への積立てや市債残高の削減を着実にやったことで、各財政指標も改善した結果となりました。

平成27年度以降に普通交付税が段階的に縮小することから、将来の財源不足に備え、今後も健全財政に努めていきます。

図財政課 ☎50-3033

市民一人当たりに使った
お金の換算すると・・・

(※ 24年度末住民基本台帳 人口 50,609 人で算出)

51万8,900円



大学誘致推進事業

▲総務費＝8億4,827万円
吉備国際大学地域創成農学部を誘致。初年度は学生56人が入学。



福良小学校体育館大規模改造事業

▲教育費＝1億3,111万円
児童が安心して利用できるよう体育館2階アリーナへのスロープを設置し、床張替や外壁塗装などの改修を行いました。



津波避難路カラー塗装事業

▲消防費＝901万円
有事の際に、住民が安全に避難できるよう市内5か所です約600mの避難路を塗装。

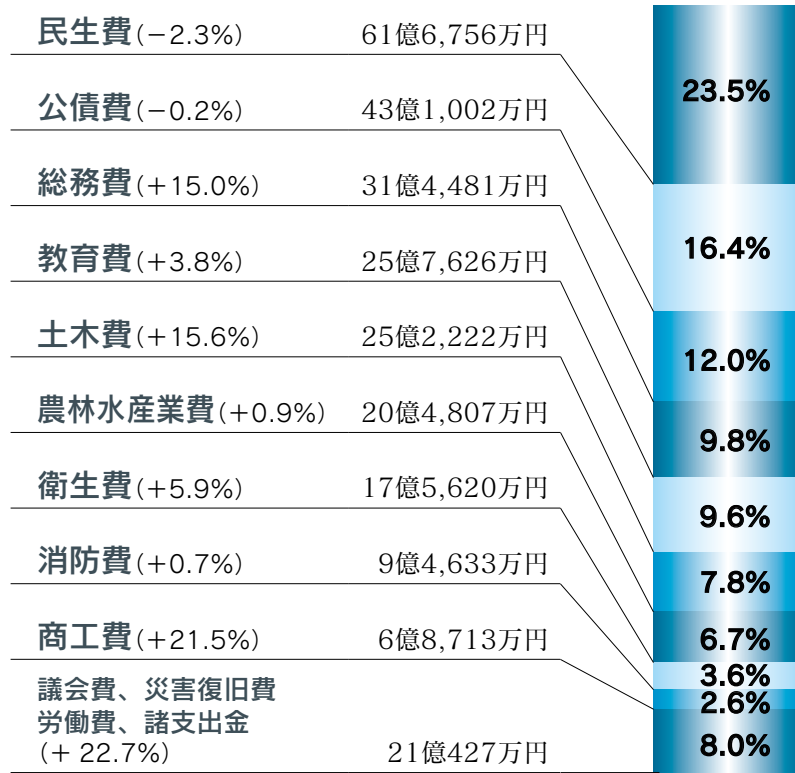


住宅用太陽光発電システム設置補助事業

▲衛生費＝831万円
1kw当たり2万円(上限8万円)の補助。補助金交付件数は108件。

支出 262億6,287万円

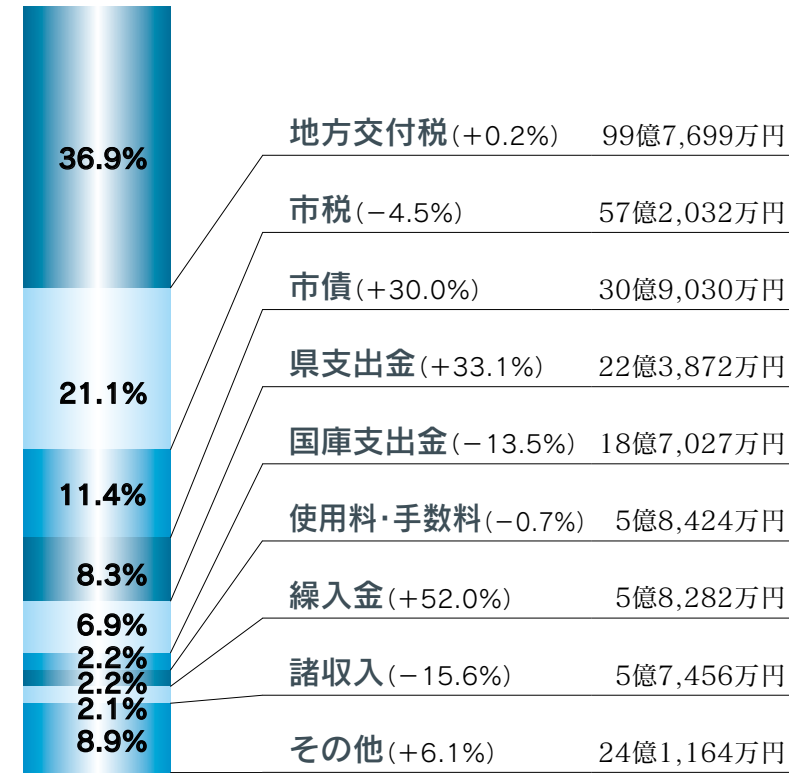
(23年度比+5.3%)



※()内は、対23年度比

収入 270億4,986万円

(23年度比+3.7%)



()内は、対23年度比

この決算状況を「月収30万円の家計」に例えると・・・

収入		支出	
給与	30万円 (-9,100円)	食費 (人件費)	6万4,600円 (-4,100円)
うち基本給 (市税など)	25万6,900円 (-3,900円)	医療費 (扶助費)	5万1,400円 (+100円)
諸手当 (特別地方交付税、使用料など)	4万3,100円 (-5,200円)	ローンの返済 (公債費)	7万900円 (-200円)
前月からの繰越金 (繰越金)	1万9,000円 (+2,800円)	光熱水費や通信費など (物件費)	4万5,300円 (-6,400円)
親からの援助 (国・県支出金)	6万7,600円 (+4,400円)	家・車・電化製品の修理や買換 (維持補修費、普通建設事業費)	7万4,400円 (+2万2,500円)
銀行からの借入 (市債)	5万900円 (+1万1,700円)	交際費・子どもへの仕送り (補助費、繰入金など)	10万8,500円 (+1万1,100円)
貯金の取り崩し (基金繰入金)	7,800円 (+5,900円)	貯金 (積立金)	1万7,200円 (-1,300円)
計	44万5,300円 (+1万5,700円)	計	43万2,300円 (+2万1,700円)

毎月の出費が約43万円。月収30万円では足りません。不足分を親からの援助や銀行からの借入、貯金の取り崩しでまかなっています。

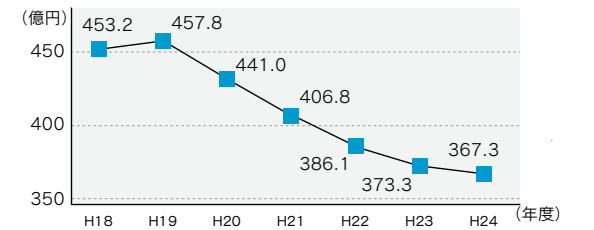
来月への繰越金
1万3,000円(-6,000円)

南あわじ市 43・2%

これが多いと一般家庭のエンゲル係数が高いことと同じで、家計にあまり余裕がないことを意味します。

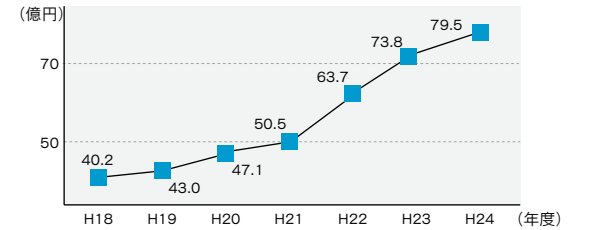
市債(借金)残高の状況

24年度末	市民1人当たり
一般会計市債残高	367億2,779万円 72万5,700円



基金(貯金)残高の状況

24年度末	市民1人当たり
一般会計基金残高	79億4,996万円 15万7,100円



市税の収入状況

区分	収入額	市民1人当たり
市民税	21億443万円	4万1,600円
固定資産税	30億5,808万円	6万400円
軽自動車税	1億6,584万円	3,300円
市たばこ税	3億4,812万円	6,900円
入湯税	4,385万円	800円
合計	57億2,032万円	11万3,000円

健全化判断比率(速報)

指標	(単位:%)			
	南あわじ市 24年度	南あわじ市 23年度	早期健全 化基準	財政再生 基準
実質赤字比率 (普通会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	12.67	20.00
連結実質赤字比率 (全ての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る比率)	-	-	17.67	30.00
実質公債費比率 (借金の返済額等の大きさから資金繰りの危険度を見る比率)	14.9	16.1	25.0	35.0
将来負担比率 (市が抱える負債の残高から将来財政への圧迫度を見る比率)	149.4	158.7	350.0	-

※赤字が生じない場合は、「-」と表示

資金不足比率(速報)

指標	(単位:%)			
	南あわじ市 24年度	南あわじ市 23年度	経営健全 化基準	備考
資金不足比率 (企業会計の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る比率)	-	-	20.0	会計ごとに算定

※資金不足が生じない場合は、「-」と表示

24年度は全体の収入は増加しているものの、市税(主に固定資産税)が大きく減少し、昨年度に比べ4.5%のマイナスとなりました。本市収入の約37%を占める地方交付税は、前年並みの0.2%のプラスとなっています。

支出面では、給食センター統合整備事業や大学誘致推進事業、福良地区市営住宅建設事業、小学校校舎等大規模改造事業、新庁舎建設事業などに取り組みました。また、前年度に引き続き、台風・大雨による

災害復旧事業も実施しています。

そのほか、安全で安心なまちづくりのため、新たな津波対策事業として、避難路カラー塗装や避難経路への太陽光発電式照明の設置、福良地区現地指揮所などの整備を行いました。橋梁の老朽化対策では、長寿命化事業を計画的に実施しています。

市債残高においては、定時償還に加え、2億7550万円の繰上償還を実施したこと、前年度より約6億円減少してい